

第20回甲府市中心市街地活性化協議会議事録

1. 開催日時 平成28年5月6日（金）午後1時30分～午後2時45分
2. 開催場所 甲府商工会議所401会議室
3. 出席者 15名（本人出席14名、代理出席1名、別添名簿参照）
4. 事務局出席
LLCまちづくり甲府 リーダー・業務担当 鈴木重正
〃 企画担当 塩見芳朗
〃 総務担当 佐野寛人
5. 議 事 甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証について

6. 議事内容等

開会の後、進藤会長より、「平成26年10月17日に内閣総理大臣の認定を受けた、新たな甲府市中心市街地活性化基本計画について、本日は、甲府市から進捗状況等の説明をいただいた後、委員各位の意見を伺う」旨のあいさつを述べた。その後、規約により議長に就任した。

1) 甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証について

議長が、甲府市中心市街地活性化基本計画に対する検証のため、計画の概要およびその進捗状況等について甲府市に対し説明を求め、この求めに応じ、甲府市地域振興課飯田課長、金子係長が説明を行った。

説明の概要は以下のとおり。

1. 本協議会開催の趣旨について

中心市街地の活性化に関する法律およびそれに伴う基本方針に基づき、中心市街地活性化基本計画の期間中、毎年、設定した数値目標の確認や取組みの進捗状況等について検証していくこととなっている。このため、この度は、計画の実施期間が昨年4月から本年3月までの1年間の進捗状況等を検証し、本協議会の意見を付す中で、国に報告するため、本協議会を開催させていただく。

2. 本計画の概要、進捗状況等について

配付資料に基づき、本計画の基本方針、活性化の目標、活性化に向けた主な事業、および事業効果と指標状況について説明がなされた。

甲府市からの説明を受けた後、議長が会議に意見を求めたところ、委員から以下の意見等が出された。

有井副会長：第1期の甲府市中心市街地活性化基本計画と違って、第2期の計画は明るい見通しが出てきているように感じる。第1期3つの指標については厳しい結果となったが、第2期についてはプラス要素が多く、平成32年の計画終了時の達成度合いは高いのではないかと。

まちなか不動産バンク事業については、事業部分と住宅部分があり、空き店舗についてはまちづくり甲府の事業も総合して効果があったが、住宅部分に関しては登録が無い状況にある。まちづくり甲府としてどう展開していく計画にあるか。

リノベーションも住民と一緒に力を入れていくが、ハードとソフトを合わせての促進が必要であると思う。

空き店舗は達成が見えてきているし、歩行者通行量も実現可能性が高い。居住人口が今後の大きな課題だと思う。

甲 府 市：空き家については平成25年度・平成26年度に市で調査した。結果を受け、所有者に対し登録の依頼や勧奨をしているが伸びない状況にある。平成28年度は物件の掘り起こしをまちづくり甲府と連携して行う。また、協定を結んでいる宅建協会にも働きかけ、連携していく。

まちづくり甲府の甲府まちなか不動産バンクサポートサイトでは事業用店舗のみを行っているが、今後は空き家・空き地の取扱いについて協議をしていく。

リノベーションについては、成功事例を持っている事業者を招聘して、ノウハウをいただき、構想を作成する、またリノベーションスクールを開催し、不動産オーナー育成をするといったソフト面の事業を進めていきたいと考えている。

ハード面では、リノベーションスクールの後、実際にリノベーションを行い、起業者を探すことを促す仕組みづくりをしていきたいと考えている。

丹 沢 委 員：街が元気になるためには、人が集まる場所をつくらなければならないので、甲府城南側の整備計画については早く手を入れるべきだと思う。10年でやるどころを5年でやるくらいの覚悟を持ってやるべき。

また、商売が成り立つ場所を作ることが必要。商売が成り立てば、空き店舗へ出店する人が増え、空き店舗が埋まる。空き店舗が埋まったら、周辺の居住人口を増やすための戦略をたてていただきたい。

甲 府 市：集客のための施設整備は重要であり、スピード感をもって行うべきことは承知している。甲府城南側は県・市の共同事業なので、担当と連携しながら進めていく。

金 丸 委 員：甲府城南側の整備は重要だと思っている。甲府商工会議所地域活性化委員会にて甲府城南側整備に関する提言をまとめ、県・市に提言したという経過がある。北口は良くなっている。天守閣があれば良いのだが、新しい資料がでてきていないので、県に継続調査を求めていきたい。

人が回遊するための整備が必要だが、民間だけではできないことなので、県・市・会議所・中心商店街が連携して進めていければと考えている。

また、まちなか不動産バンク事業については、まちづくり甲府の立場として、取り組んでいきたい。

甲 府 市：北口の賑わいや甲府城南側整備により創出される賑わいを岡島やかすがも一層まで繋げていくことも重要であると認識しているので検討していく。

空き店舗については、既存の助成制度に加え、民間主導のリノベーション事業によるまちづくりの積極的な展開により解消を図りたい。

丸 茂 委 員：甲府城の天守閣については県が歴史的資料を探していく訳だが、甲府市内には武田家の遺跡も点在している。開府500年が近づいているが、文化・芸術の関係で交流人口を増やすことをどのように考えているか。

甲 府 市：郊外のイオン等に対抗するため、昔からの文化・歴史を武器に交流人口を増加させることが重要だと考えている。開府500年に向けて担当課を設置したので、連携しながら活性化に資することを考えていく。

加々美委員：中心へのアクセスの話になると駐車場が問題と言われる。駐車場はあるが、駐車場の開発を民間に任せているので点在しており、どこに空きがあるのか分かる状況にない。大型店との競争の兼ね合いもあるが、駐車場の整備を真剣に考えていかないと中心市街地の発展につながっていかないとと思われるので今後検討していただきたい。

高 野 委 員：駐車場整備計画はあったが途中で終了した。アンケート調査では、駐車場が無いという回答が非常に多い。このような回答をする方々は、広場があって自由に駐車できる状況を駐車場があると認識している。この状況を中心街に求められてもどうにもならない。お客様の意識改革も必要である。もう一つは、駐車場は点在しているが、目的の場所から80m以内にないと駐車場とは言えないという意識や駐車場にお金を払うのが嫌という意識がある。また、中心にくる機会がないという悪循環もある。

中央1丁目再開発（銀座ビル）については、240室あるとのことだが1室2名住んでも約500人の人口増が見込まれ、市の計画も達成できる。再開発者には必ず人口を確保させ、きちんと入居したかをチェック等具体的に定住人口増加に寄与していただきたい。

甲 府 市：駐車場に関しては、中心市街地外に臨時駐車場を造った事例もある。民間の利権もあるので成功事例を見ながら検討する。

銀座ビルについては、買ってもらっても住んでもらわなければ意味がないというのはその通りである。住民票を移して中心市街地に住宅を構えると補助金がでるので、住んでもらえるように働きかける。

丹 沢 委 員：行政の駐車場の考え方は、狭い駐車場でも足していくと収容台数は増えるため、たくさんあるという結論となる。市民はある程度の広さがないと駐車場とは見なさない。甲府市で欠けているのは市営駐車場がないこと。空き地等を買って甲府駅を挟んで北と南に市営駐車場つくることを検討してほしい。

進 藤 会 長：市庁舎の駐車場は停めてもよいのか。

甲 府 市：基本的に1時間は無料である。市での用事を済ませたあと中心市街地にお出かけいただきたい。

長坂副会長：行政が街と一緒に駐車場をつくるのであれば、無料券を店舗で配布しお客様は無料とするようにしていきたい。

進藤会長：雨宮委員に質問がある。かつて、パークアンドライドを行っていたが、現在はイベント等がなければ行っていない状況にある。公共交通機関を利用して街に来ていただければ、夜の街も活性化すると思うが、自家用車の利用となると郊外の広大な駐車場がある店舗に人が向かう。人を中心市街地に運ぶために公共交通機関としてはいい方法がないか。

雨宮委員：現実として現在は、自家用車の利用が多い。理論的な話になるが、公共交通機関を利用すると、駅やバス停から目的の店まで歩くかタクシーを利用することになることから、街中の賑わいができてくる。それで、公共交通機関を利用しようという発想が各都市ででている。

バスの利用が増えている地方都市では、駅の他に中心市街地にもバスターミナルがある。近くだと静岡市がこの例である。公共交通機関がもう少し中心市街地に入っていけるような工夫があればお役に立てるかもしれない。しかし、これからバスターミナルを造るのは難しいため、地域の実情に合った全国の成功事例を聞いてみたい。

進藤会長：信玄公まつりでは通行止めもあったため公共交通機関利用者が多かった。公共交通機関を上手に利用することで人が街に来てくれて、その人が街を歩いてくれるというのが重要だと思う。街に何か魅力があれば、人は遠くからでも歩いてくれるのが現実。公共交通機関に関して、市でアイデアはあるか。

甲 府 市：まだ、具体的には検討していない。リノベーション構想を策定するにあたり検討委員会を立ち上げる。この検討委員会の中で、中心街が抱える課題を挙げて議論し方向性を見出すが、公共交通機関のことも取り上げていく。

2. その他

甲府警察署西島交通課長より、山梨県暴力団排除条例の改正および平成27年中の交通事故発生状況について説明があった。

金丸委員より、甲府開府500年の目途に、B-1グランプリ開催していただきたいが開催にあたっては、甲府警察署のご協力をいただきたいとの発言があった。

進藤会長より、正ノ木祭り主催者は2日間は通行止めをしたいとの意向だったが、警察からの指導により1日となったとのことなので、警備上の問題もあると思うが今後ご検討いただきたいと発言があった。

議長がその他に意見等がないことを確認し、議事を終了、事務局が閉会を宣した。

第20回甲府市中心市街地活性化協議会 出席状況

役職名	委員名	所属名・役職名	5/6
会長	進 藤 中	甲府商工会議所 副会頭	○
副会長	長 坂 善 雄	甲府商店街連盟 会長	○
〃	有 井 昇	甲府市大型店協議会 会長	○
〃	古 屋 賀 章	(株)山梨中央銀行 執行役員営業統括部長	○
委 員	丸 茂 紀 彦	甲府商工会議所 常議員	○
〃	高 野 洋志雄	甲府中央まちづくり(株) 代表取締役	○
〃	山 本 知 孝	甲府市 副市長	代
〃	金 丸 康 信	合同会社まちづくり甲府 代表社員 甲府商工会議所 職務執行者	○
〃	丹 沢 良 治	NPO法人街づくり文化フォーラム 理事長	○
〃	木 造 雅 隆	甲府中央商店街新生協議会 会長	×
〃	雪 江 美 也	朝日通り商店街(協) 理事長	×
〃	宇佐美 太 郎	ココリ管理組合 理事長 (株)オギノ 職務執行者	×
〃	雨 宮 正 英	山梨交通(株) 専務取締役	○
〃	加々美 富明	春日地区自治会連合会 会長	○
〃	清 水 明	春日地区自治会連合会 副会長	×
〃	牛 奥 久 代	甲府市女性団体連絡協議会 会長	○
〃	森 澤 昌 子	子育て支援団体ハッピーキッズ 代表	○
オブザーバー	高 野 和 摩	山梨県 商業振興金融課 課長	○
〃	西 島 丈 人	甲府警察署 交通課 課長	○

○=出席、×欠席、代=代理出席